企業スポーツの歴史社会学

「東洋の魔女」を中心に

新　雅史

　本稿は、繊維工場のレクリエーションが「東洋の魔女」というナショナル・イベントに至るまでの過程を素描するなかから、工場空間に準拠していたバレーボールが企業という共同性へと接合していくありさまを明らかにする。（……中略……）

1　はじめに

1-1　問題設定と研究対象

　20世紀初頭以来スポーツは、新聞メディア・音声電子メディア・映像電子メディアと、マスメディアの進展とともにその存在感を強めてゆき、かつナショナルな感情を媒介してきた。こうした経緯はスポーツがその魅力でもって、大衆へと直截的に浸透した歴史であるかのように見える。だがスポーツに多少なりとも関心あるものなら誰もが知っているように、そこではアマチュアリズム／プロフェッショナリズム[[1]](#endnote-1)という規範が近年まで強く働いていた。（……中略……）

　なぜ磯辺サタが懇願したかといえば、大松曰く、選手の大半が高卒のため、端々に「高校」という単語が出て、そのたびに彼女がつらい気持ちになったからだという。

　選手たちは、中学からきた従業員がほとんどの工場のことだから、いばるのではなく、高校を出ているのだから、それにふさわしい挙措をしなければならないように思う。年下の選手になにか注意するにも、「あんたたちは高校を出ているのだから。」という。いわれる中の磯辺サタひとりは、中学しか出ていない。（大松 1964: 181）

　結果、磯辺サタは大松の配慮によって、小島孝治氏が当時勤務していた大阪・四天王寺高校に入学した。（……中略……）

文献

Anderson, Jackson M., 1955, Industrial recreation, New York: McGraw-Hill Book Company, Inc.（江橋慎四郎訳，1965『企業とレクリエーション』ベースボール・マガジン社．）

大松博文，1963，『おれについてこい！──わたしの勝負根性』講談社．

――――，1964，『なせば成る！──続・おれについてこい』講談社．（……中略……）

（あらた　まさふみ、東京大学大学院人文社会系研究科、arapyon@hotmail.com）

Historical Sociology of Industrial Sport

Focusing on the Japanese Volleyball Team in Tokyo Olympic

ARATA, Masafumi

When we examine the development of sport in Japan, （……中略……）

1. この両者を分割するのは、当該スポーツイベントに参加する選手がスポーツを生業としているか否かである。 [↑](#endnote-ref-1)